

自然の家だより

平成30年
10月3日

岐阜市少年自然の家（公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団） 岐阜市山県北野2081番地

Tel 058-229-2888 Fax 058-229-2933 Email gishizen@he.mirai.ne.jp URL https://gikyobun.or.jp/gishizen/

暑さも和らぎ、朝晩と肌寒く感じるようになりましたが、自然の家周辺ではトンボが活発に飛び回っているのをみかけます。

今回のお便りは岐阜ファミリーパーク内で発見した6種類のトンボについて紹介します。



シオカラトンボ(オス)

観察場所：公園の川辺

説明：目の色は水色、オスの体は成熟すると、体が白い粉に覆われるようになります。その粉を塩に見立てたことがこの名前の由来となりました。



オオシオカラトンボ(オス)

観察場所：水辺の木

説明：未熟なうちは、体色は黄色ですが、成熟するとシオカラトンボより体の水色が濃くなり、体も一周り大きくなります。羽の先端と付け根が少し茶色です。



ミヤマアカネ(オス)

観察場所：公園の山際

説明：アカネ属のトンボをまとめて赤トンボといいますが、このミヤマアカネもその一種です。羽の模様が他の赤トンボと比べて特徴的です。



オニヤンマ(オス)

観察場所：キャンプ場の桜の木

説明：日本最大のトンボです。メスは腹の先端にある産卵弁がとても長いので、この写真はオスだとわかります。



ギンヤンマ(左オス：右メス)

観察場所：野球場前の池

説明：メスが水中に卵を産んでいる瞬間です。数匹のオスがメスをめぐって争っていました。オスの腹は青くなっていますが、メスの腹は黄緑色になっています。



ヤブヤンマ(オス)

観察場所：岐阜市少年自然の家

説明：自然の家の中に入ってきたのでつまえて観察しました。オスの目と腹は青くなっているのが特徴です。オニヤンマと同じぐらいの大きさがあります。

今回紹介したトンボは、みなさんの身近なところで飛んでいることがあります。ぜひ、見つけたときには、じっくり観察してみてください。思いがけない発見があるかもしれません。